



笹の葉

西東京市立保谷中学校
学 校 便 り 5 号
令和7年9月1日(月)

校長 市来原 真茂

今日から2学期が始まります。長い夏休みを終えて、またこうしてみなさんと新たな一歩を踏み出せることを、心からうれしく思います。

1つの有名な話を紹介します。科学者アインシュタインが、ある日、教室の黒板に九九を書いたそうです。彼はこう書きました。 $1 \times 9 = 9$ 、 $2 \times 9 = 18$ 、 $3 \times 9 = 27 \cdots$ 、 $10 \times 9 = 91$ もちろん、最後の「 $10 \times 9 = 91$ 」は間違いです。正しくは「90」。その場にいた生徒たちはすぐに気づいて、くすくす笑い出しました。「アインシュタインでも九九を間違えるのか」と。するとアインシュタインは、こう言ったそうです。「私は9問正しく書きました。1問だけ間違えました。それなのに、君たちは正解には目を向けず、たった1つの間違いだけを笑った。これが社会というものだ。どれだけ努力を重ねても、たった1つの失敗で批判されることがある。でも私は、間違えることを恐れて立ち止まるよりも、挑戦し続けることを選ぶ。」

皆さんは、この話から何を感じますか。人は誰でも、間違えたり失敗したりするものです。でも現実には、たった1つの間違いで人を責めたり、全体の努力を否定してしまうような場面がよくあります。たとえば、テストで90点を取っても、ひとつ間違えたところばかりに目が行く。スポーツの試合で最後までよく頑張ったのに、1回のミスで責められる。クラスで一生懸命手を挙げて発表したのに、少し言い間違えたことで笑われてしまう。

でも本当に大切なのは、「その1つの失敗」ではなく、そこに至るまでの努力と挑戦の積み重ねです。9問を正解するには、練習も、集中力も、勇気も必要だったはずです。失敗があるということは、それだけ真剣にやっていたという証です。だから、たとえ誰かが何かを間違えたとしても、その人の挑戦を笑ってはいけません。そして、自分が失敗したときも、「ダメだった」と決めつけずに、「よくここまでやった」と、自分を認めてあげてほしいのです。

どうかこの2学期、勇気を出して、自分の可能性に挑戦してください。そしてまわりの人の挑戦にも、あたたかい目を向けて、「一緒に頑張ろう」と声をかけられる人であってください。たった1つの失敗にとらわれず、たくさんの努力と前向きな一歩に目を向けられる、そんな2学期にしていきたいと思います。心から、みなさん一人ひとりの成長を楽しみにしています。

生徒の活躍

大会（コンクール名）	成績	受賞者（団体を含む）
第11ブロックバドミントン選手権大会	5位	バドミントン部 男子ペア
第11ブロック夏季サッカー大会	3位	サッカー部
Slackline Tour2025 関東大会 オープン女子	優勝	3学年生徒
第65回東京都中学校吹奏楽コンクール	銀賞	吹奏楽部
西東京サッカー夏季市内大会	準優勝	サッカー部
令和7年度ジュニア育成事業 中学生バドミントン大会団体戦	1年生男子 優勝 1年生女子 三位 2年生女子 三位	バドミントン部

9月の予定



9月 1日（月）	始業式・安全指導
2日（火）	給食始（午前授業）
5日（金）	避難訓練
8日（月）	生徒会役員選挙・歯科指導（N）
9日（火）	歯科指導（2）・専門委員会
12日（金）	本町小研究授業（午前授業）
16日（火）	中間考査（国・英・数）
17日（水）	中間考査（音(2)・社・理）

20日（土）	道徳授業地区公開講座 学校公開週間始・給食なし
25日（木）	中央委員会
26日（金）	学校公開週間終・ふれあい開放
29日（月）	後期始・生徒会朝礼